

クガイソウ
「九蓋草」(ゴマノハグサ科)
本州の山地の日当たりの
良い草地に生える多年草。
名前の由来は輪生する葉
が層をなして茎につくこ
とから。



箱根湿生花園の 花だより

2018年7月1日 発行

早くも関東の梅雨明けが宣言されましたが、箱根仙石原では雨や霧の日が多く、太陽がなかなか顔をのぞかせてくれませんが、それでも花たちが夏の気配を感じ、着々と花開き始めています。緑と雨の競演をもう少しだけお楽しみください。



深い霧に包まれた植生復元区、晴れとは違う幻想的な雰囲気は筆者のオススメ!!



Pick Up ミズチドリ「水千鳥」ラン科

ミズチドリは、北海道～九州の日当たりの良い水湿地に生える多年草です。6月末～7月にかけて穂状に白色の花をつけます。名前の由来は水湿地に生え、チドリのような花をつけることから。花に芳香があり、別名ジャコウチドリ(麝香千鳥)とも呼ばれています。

ミズチドリは、仙石原湿原を彩る代表的な湿原植物の1つであり、箱根湿生花園では、植生復元区の木道近くで観察することができます。植生復元区では、ミズチドリのほかにもカセンソウやオカトラノオ、クサレダマなどの美しい植物が咲き始めています。



カセンソウ

「歌仙草」(キク科)

北海道～九州の日当たりの良い山野の湿地に生える多年草。地下茎を長くのばしてふえ、群生する。



File 6 スジグロボタル コウチュウ目ホタル科

前号では有名なゲンジボタルを紹介しましたが、今回はあまり知られていない湿原を生活圏とするスジグロボタルを紹介します。スジグロボタルは、昼間に活動する昼行性ボタルの一種です。ほとんど発光せず繁殖行動には光ではなくフェロモンを使っていると考えられています。幼虫の分布は湿地周辺に限られるため、神奈川県レッドデータリストでも準絶滅危惧種に指定されている貴重な昆虫です。仙石原湿原はスジグロボタルにとって理想的な環境が整っており、園内でも比較的安定して観察する事ができます。



Botanical Gallery



クサレダマ

北海道～九州の山地の湿地に生える多年草。名前の由来はマメ科のレダマに似ていることから。



カライトソウ

本州(中部地方)の高山帯に生える多年草。名前の由来は花を唐から来た唐糸に見立てたことから。



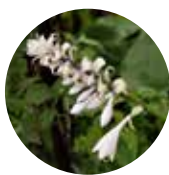
マツモトセンノウ

九州の山地のススキ草原などに生える多年草。名前の由来は花の形が歌舞伎役者の松本幸四郎の紋に似ていることから。



ノリウツギ

北海道～九州の草原の低木林や林縁などに生える落葉低木。名前の由来は和紙を漉くときの糊料に用いたことから。



オオバギボウシ

北海道～九州の山地の湿った林内や草原に生える多年草。ギボウシの由来は若いつぼみの集まりが橋の欄干につける擬宝珠に似ていることから。



オオバジャノヒゲ

本州～九州の林内に群生する多年草。花は淡紫色または白色。種子は灰緑黒色。



オカトラノオ「丘虎の尾」(サクラソウ科)

北海道～九州の丘陵の日当たりの良い草地などに生える多年草。花序の上部は垂れ、花は下から咲き上がる。

ご利用案内

通常営業 9:00～17:00 (最終入園 16:30)
大人(中学生以上) 700円 小人(小学生) 400円

アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス(湿生花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

はこね湿生花園

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>